



3月31日(日) 東海教区少年連盟から京都本願寺に参拝しました。
 先ずは、阿弥陀堂にてみんなで「らいはいのうた」をおつとめ、各お寺からの
 の代表者による焼香がありました。存仁寺からは、田邊瑠衣さんです。



安穩殿に移動して表彰式
 そして、楽しみなあたたまる
 お弁当の時間です。



再び阿弥陀堂に移動して、今日は奉仕団です。
 畳は、何枚あるでしょうか？

みんなで数えながら、
 ぞうきんでゴシゴシゴシ。
 畳もきれいになりました。
 手を洗って国宝鴻の間で
 抹茶をいただき、書院
 拝観をしました。



鈴鹿組はなまつり

恒例になりました。鈴鹿組はなまつりのお祝いが、4月2日(木)に延命寺さんで開催されました。
 灌仏(甘茶をおかけしてお祝い)の後、パネルシアターによる「お釈迦さま降誕」、亀山市関中学校吹奏楽部
 による演奏会がありました。たくさんの参拝で賑わいました。



無量寿会

春のお彼岸入り、無量寿会追悼法要をおつとめさせていただきました。『仏説阿弥陀経』を全員でおつとめ、焼香の後住職より、『生死のいのちとご縁』という法題でお話を聴聞いたしました。「今を生きる事ができるのは誰もがいのちを賜ったこと。しかし、必ず終えていかななくてはならない現実があります。でも、死なない方法がある」というお話でした。皆さん、無量寿に生きる会、是非七十歳を超えたらお入りいただきますようご案内申し上げます。



3月16日(月)門徒推進員さんと

鈴鹿市神戸にある臨済宗龍光寺涅槃会に参拝しました。近くの園児も和さんの絵解きを熱心に聞いていました。

私たちも時間が来て「お釈迦様のご往生、涅槃図の絵解き話をきかせていただきました。精進料理を頂き拝観していますと、丸橋さんの高校時代の同級生にばったりとであい、これもまた「ご縁ですね」。茶道珠光流をなさっていて、私たちもお点前頂戴いたしました。



私が現役でいた頃には、営業に出る時には、必ず3つの原則を守るようにと先輩諸氏から口を酸っぱくして言われてました。それは、1、政治2、スポーツ3宗教を話題にするなどの事を教わりました。何故ということは皆さんご承知と思われまますので割愛します。その私が、現役を離れて、日常の事、世間の事、世界の事に耳を傾けた時に、これで良いのだろうか、いらだちを覚えることが多すぎます。今回は敢えてそれに踏み込み私心を述べます。暴虐非道を働き、それを恰も神の如きに振る舞い、何の優著も無く人を殺戮する。その様子が毎日のようにTVから見聞きした時に、これから怖ろしい世の中につづくいく前触れでは、と考える時があります。ところで、目を国内に転じた時に、今年はテレビのスイッチを入れる度に、普段は雪が降らない、少ない地域での雪害による交通事故が報じられる回数が多かったように思います。何故に他人はやってはならないことをやるのでしよう、何度も奇異に感じることはありません。

北海道 大島義勝さん

ほとんどが人災では？

なぜ、そんなにスピードを出すの信号の前で、ほら追いついたそんなに急ぐなら、十分いや五分早く起きて、家を出れば良いのにそのスピードが事故に繋がるよ

ああ〜また、スピード狂の車が前の車の間を追い越して行くウインカーも上げずに雪道を疾走事故が起きるのは当たり前でしょうせ次の信号で止まるのにね

余り雪が降らない地域での降雪がTVニュースで報じられている痛ましい交通事故の映像が流れる何故に、夏タイヤで運転するのは何故に、雪道を夏靴で歩くの？

北国育ちの私には、奇異に見える遣っけはいけないことをするそれで事故が起きるのは当然だ今日も交通事故の映像が流れてるそのほとんどが人災ではないか？

怖ろしい世の前触れか

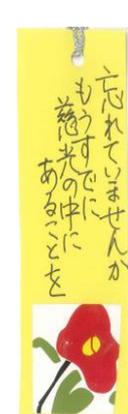
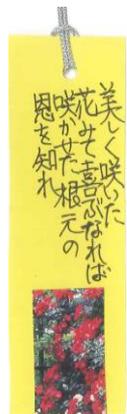
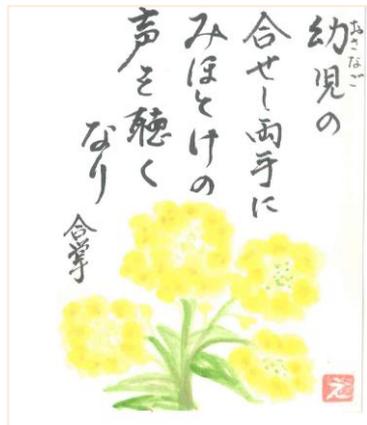
■今日も、紙面、TVを賑わすISに依る愚かな行為に依る殺戮神の名に於いての殺戮と破壊行為此の先に、何が来るのだろうか

■何故に、その心が生れるのか貧困からか、将来への絶望からか社会への疎外感から生まれるのか世界各国から集まる暗闇愚者

■唯ひたすら暗黒闇に落ち込み神は、人を殺して良いとするのか神の命にて、暴虐非道を繰り返す愚かに思えるのは私だけか

■非力な叫び、強く平穏を望む今日もマスコミ、ニュースが報ず世界の家族が普通に生きる為には何処かで、皆が声を上げねば南無阿弥陀仏〜

四月、桜花のひとつとときに和みながら新たな時間が始まったことでしょう。四月八日は仏法に生かす智慧を教えてくださいました。



朝倉市 森田 瑛子 さん



大島 光子 さん



札幌市 大島 光子 さん

沈丁花 香り届けに 暮参かな
余生なお することあらん 梅ま白
藪椿 落ちてても赤き 夢を抱く
病む友に 言葉選びて 春菘
美しく 生たし八十路 花だより
春風や 日に安らげる 虫縁墓
春愁や 老舗旅館が 暖簾閉ず
落合 登代子